

5. 経済・雇用



就職説明会の集中開催	失業中・休職中の求職者を対象とした合同説明会を上半期に集中的に開催	1,400万円
就職氷河期世代支援	SNSやAIを活用したオンラインによるキャリア相談	6,200万円
スタートアップ支援	500Startupsと連携したオンラインプログラムの実施、高校生・大学生を中心としたエンジニア創出	8,600万円
こうべ駅ナカ・街カドチャレンジショップ事業	神戸三宮阪急ビルに専用区画を設け、食のスタートアップ支援、キッチンカーの起業者向け車両改修補助や出店場所確保	4,000万円
神戸市中小企業DXお助け隊事業	中小企業を対象に、デジタル技術を活用した経営課題の解決や事業転換を支援	2,500万円
オンライン商談会の開催	オンライン商談会の開催や対応向上の研修実施	1,100万円
イノベーション創出拠点の開設	神戸三宮阪急ビル15階にビジネススクエア「ANCHOR KOBE」の開設	1億 6,900万円
平日限定市内宿泊リピーター獲得キャンペーン	宿泊施設利用 500円ごとに、次回利用できる平日限定の施設割引券 1,500円を配布（1人あたり4枚まで利用）	1億 1,600万円

6. その他 再整備・地域活性化

都心三宮再整備	新・神戸文化ホールの整備（令和6年度完成予定） 三宮図書館の仮移転・整備（令和4年度中仮移転・令和8年頃完成予定） 新中央区役所の整備（令和4年度完成予定） 本庁舎2号館の再整備（令和7年度以降完成予定） 新バスターミナルの整備（令和8年度完成予定）	151億 9,100万円
元町・新神戸駅	地下鉄新神戸駅のバリアフリー化（エレベーターの改良） 駅前広場の再整備、 元町エリアにおける観光バスの乗降場の試験運行	2億 1,800万円
ポートアイランドの活性化	青少年科学館のリニューアル、 ポートアイランドスポーツセンターの再整備、 南公園のリノベーション	9億 7,200万円
ポートアイランドのアクセス強化	新神戸～三宮～ポートアイランド～神戸空港のアクセス強化、 朝夕のラッシュ時の混雑が激しいポートライナーについて、 連結バスの導入や既存バス路線の増強を図る、 併せてポートライナー三宮駅のホーム拡張工事を行う。	3億 7,500万円
阪急春日野道駅のバリアフリー化	エレベーター、多機能トイレ、 可動式ホーム柵などの設計	2億 8,000万円

さらに詳しい予算の内容、発言内容は、

神戸市会のホームページをご覧ください www.city.kobe.lg.jp

OPEN神戸～市民に開かれた市政～

神戸市議員 中央区 **よこはた和幸** かずゆき

編集・発行 立憲民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

立憲民主党神戸市議員団 **NEWS No.9**

令和3年第1回定例市会2月議会

令和3年度予算について代表質問

2月18日から3月31日（予定）まで予算議会が開会中です。最優先課題は、新型コロナウイルス感染症対策です。病床・医療人材確保など医療体制の安定供給をすること。ワクチンスケジュールは、国の動向を注視しながら市民周知に努めること。副反応や接種に躊躇されておられる方への情報提供することなど直接市長に要望申し上げました。

また、市税収入がマイナス169億円ですが、ひとり親家庭支援や小学校の過密化対策など福祉・教育など人に対する投資も前年度プラス66億円となっているのが特徴です。

また、WITHコロナ、AFTERコロナも視野に入れた前向きな施策も展開してまいります。質疑要旨、新規各施策のポイントなど予算市会のご報告を申し上げます。

代表質問 (2月26日)



Q 新型コロナウイルス対策について

医療人材・病床確保し、医療の安定供給をすべき。ワクチン接種の時期がずれたり、コロナ禍が長引くようであれば、躊躇せずに予算編成をすべきと考える。

A ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くような場合、躊躇することなく必要な医療体制の確保に取り組んで参ります。

Q 「楠木正成」公NHK大河ドラマ実現に向けて

神戸にNHK大河ドラマを誘致すべきと考える。長年愛されてきた湊川神社ゆかりの「楠公さん」楠正成公が適しており積極的に誘致すべきと考える。



A 楠木正成公でございますけれども、本市とは関わり合いが深い方でございます。「楠公さん」大河ドラマ誘致協議会と連携をしながら、楠木正成の大河ドラマの誘致に向けて積極的に取組をさせていただきたい。

Q JR神戸駅前の活性化について

JR神戸駅は、明治7年に誕生しました。昭和5年に建築され近代化産業遺産に指定されています。北側は、バスロータリー・駐輪所など公共施設があり観光客や買い物客が落ち着く場所もなく回遊性はない。大胆な活性化が必要であると考えている。

A 神戸駅の駅前広場について、魅力を高め、快適性を向上させることを目的に、駅前広場の再整備に取り組んでいこうと考えている。JR神戸駅周辺の活性化につなげるため、駅前広場だけではなく、駅を中心とする駅前空間を一体的に捉えまして、周辺エリアへの回遊性の向上や、高質で風格のある駅前空間として刷新すべく、検討を進めている。

神戸駅前再整備に関するアンケート

駅前空間の魅力を上させることで、まちの質を高め、地域住民・来訪者の賑い、憩いを創出するとともに、快適性向上を目指して取り組んでいます。その一つとして、神戸駅前広場の再整備を検討するにあたり、駅前広場を高質な空間とするにはどうすればよいか、皆様のご意見を計画に反映させていただくためアンケートを実施しました。

アンケート結果は
神戸市のホームページでご覧いただけます

神戸市 駅前空間の魅力創造

検索



令和3年度予算 新規・拡充事業（抜粋）



1. 新型コロナウイルス感染症対策（220億円 6,600万円）

ワクチン	ワクチンの接種、接種券の発行配布、コールセンターの設置	92億円
検査	PCR検査など検査体制の充実、相談窓口の運営	12億円
医療	市民病院での重症・中等症コロナ患者受け入れ支援、無症状宿泊支援、自宅療養支援	48億円
経済	家賃軽減緊急支援、キャッシュレスポイント還元、オンライン商談会、平日宿泊リピーターキャンペーン、アーティスト活動機会創出	60億円

新型コロナウイルス ワクチン接種について

神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター

電話 **078-277-3320**

受付時間 平日 8:30~20:00 土日祝 8:30~17:30

受付内容

- ・接種可能な市内医療機関の紹介
- ・集団接種の会場、予約方法の案内
- ・接種券が届かない、再発行などの問い合わせ

電話での問い合わせが困難な人は

(メール) pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

詳しくは
神戸市HP



スケジュール(予定)

- ・4月から高齢者への優先接種を開始予定、3ヶ月程度での終了を目指しています
- ・次に基礎疾患のある方、その他一般の方々への接種を迅速に実施する予定です

	3月	4月	5月	6月
高齢者への優先接種 (市内病院・診療所・集団接種会場)	事前シミュレーション	接種券郵送	接種	接種
一般市民向け			予約受付	コールセンターの設置

厚生労働省の新型コロナワクチン相談窓口

フリーダイヤル **(0120)761-770**

受付時間(土日 祝も実施)
午前9時~午後9時

令和3年3月1日現在

2. 子育て



子ども医療費助成	入院医療費無料の対象を高校生世代に拡充（10月予定）	6,100万円
ひとり親家庭支援	高校生の通学定期券補助・オンライン就業相談	3,400万円
不妊治療助成の拡充	1回の上限30万円、1子ごとに最大6回（40歳以上43歳未満は最大3回）	6億8,200万円
妊婦へのタクシー利用助成	妊婦健康検査等への外出時に利用するタクシー利用料支援	2,500万円
保育料の減免	0~2歳児の保育料を第2子半額・第3子以降無料化 3~5歳児の一時保育利用料の無償化	5億円
保育所の副食費の減免	3~5歳児の副食費の第3子以降無償化	1億2,900万円
インフルエンザ予防接種に対する助成	多子世帯における1~12歳のインフルエンザ予防接種の支援（1回目・2回目2,000円）	7,700万円

3. 教育



GIGAスクール構想の推進	市立小中学校生1人1台PCを活用した授業・家庭学習の推進、市立高校における低所得者へのPC貸与	231億7,000万円
ICT学習環境整備	市立学校の普通教室への電子黒板整備	3億円
小学校の過密化対策	児童増加に対応するための校舎整備（湊小学校等）	153億9,000円
学校設備の異常高温対策	災害時避難所となる小学校の体育館の空調整備	2億8,000万円
こども本の森 神戸	東遊園地に安藤忠雄さん寄贈「こども本の森 神戸」開館準備整備	7,900万円
こども食堂の全市展開	令和3年度中に全163校区中100校を目標	8,600万円
温かい中学校給食の推進	全員喫食をに向けた調査検討、保温食缶を活用した温かい給食の提供	3,300万円
児童虐待防止対策の強化	こども家庭センターの強化、移転拡充	347億6,000万円

4. 医療・介護



認知症「神戸モデル」の推進	認知症診断助成制度、事故救済制度実施	25億4,000万円
認知症の方と家族支援	集中支援チームによる訪問支援、認知症疾患医療センターにおける専門医療相談の実施 在宅で生活される患者に対してKOBEM見守りヘルパーを派遣	2億300万円
高齢者の社会参画促進	65歳以上の高齢者が介護保険事業所で掃除洗濯などの活動を行った場合ポイントを付与して交通費などへ換金	1億1,000万円
介護・障がい福祉サービスの働きやすい職場	医療・障がい者介護サービス事業所におけるICT支援、介護ロボット開発	3,600万円
障がい児支援の質の向上	作業療法士など専門家による児童発達支援事業所及び放課後デイサービス事業に対する訪問指導・助言の実施	500万円
重症心身障がい児施設の整備	重症心身障がい児施設の整備（56名予定）	3億3,800万円
外国人介護人材の受け入れ	外国人介護人材の日本語学習や介護福祉士取得支援	800万円
医療産業都市の推進	スーパーコンピューター「富岳」における創薬などの革新的な研究支援、次世代未来医療構想の推進	5億7,000万円



**神戸市会議員
(東灘区選出)**

やのこうじ

市会報告

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
 TEL/FAX 078-841-2255
 ✉ yano.koji2018@gmail.com
 市会議員団ホームページ▶http://rikken-kobe.jp/



編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和3年 第1回定例市会【2月議会】開催 日程(2月18日～3月31日)

現在、令和3年度の神戸市各会計予算や議案について審議をしているところです。

①新型コロナウイルス感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保に全力で取り組み、市民生活や市内事業者の経済活動を支えていく ②防災・減災や道路、公園、学校などの公共施設などの老朽化改修を実施し、安全安心の確保を図るために、先日2月25日の本会議において、425億8,200万円の補正予算が成立しました。

神戸市においても2月28日に緊急事態宣言が解除されましたが、引き続き市民のみなさま方からのお声を聴かせていただき、意見反映に努めて参ります。

補正予算の主な内容 総額：425億8,200万円

<p>① 感染拡大防止及び医療提供体制の安定的確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保 【16億円】 ・市民病院への新型コロナウイルス感染症対策支援 【10億円】 ・市内医療機関支援 【6億800万円】 ・感染拡大防止対策 <li style="padding-left: 20px;">児童福祉施設等(最大1施設当たり50万円) 【5億4,200万円】 <li style="padding-left: 20px;">市立学校園 【3億4,100万円】 	<p>② 市民生活の支援と新しい生活様式への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得のひとり親家庭への給付 【10億600万円】 ・生活困窮者に対する住居確保給付金の給付 【3億2,200万円】 ・地域福祉センターのWi-Fi整備促進 【7,200万円】 
<p>③ 経済活動の維持回復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家賃負担軽減緊急一時金(家賃サポート緊急一時金) 【14億円】 ・キャッシュレスポイント還元事業(ポイント還元率最大20%、ポイント付与上限5,000円) 【3億4,000万円】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(国が8割、県市で2割負担) 【11億4,200万円】 ・集中的な就職説明会の開催(新型コロナウイルス感染症の影響で失業、休業中の方を対象) 【1,400万円】 	<p>④ その他の財政需要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保(道路改良、橋梁整備、河川改修、公園施設整備、海岸保全等の実施) 【113億9,400万円】 ・学校施設整備(学校施設の大規模改修、空調整備「小学校給食室」34校、「小学校体育館」40校、市立高等学校の産業教育のための設備整備等の実施) 【39億9,500万円】 ・マイナポイント事業 【1億400万円】 ・不妊治療費助成事業等の拡充 【1,300万円】

各種相談窓口

新型コロナウイルス専用健康相談窓口

【発熱・せき等】の症状が生じた場合は、**かかりつけ医**に

まずは、電話を



診察を受けるべき? 悩まず、電話を

かかりつけ医

どこに相談すればよいか分からない場合は↓

電話 078-322-6250
FAX 078-391-5532
 (24時間土日祝含む)

ワクチン接種に関する問い合わせ

＜新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター＞

電話番号：**078-277-3320**

受付時間：平日(月～金) 8時30分～20時00分
 休日(土日祝) 8時30分～17時30分



電話での問い合わせが困難な方は、
メールアドレス：
pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

【新型コロナウイルスワクチン接種に関する相談内容】

- ・神戸市におけるワクチン接種のスケジュールに関する問い合わせ
- ・ワクチンの接種を受けるための手続きに関する問い合わせ
- ・接種券の送付に関する問い合わせ など

神戸市支援総合サイト

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者や市民の方々への支援制度をご紹介します。



神戸市総合コールセンター

市政、くらし、各種申請手続きで分からないことは神戸市総合コールセンターにお電話ください。

電話 078-333-3330
FAX 078-333-3314
【年中無休 8:00～21:00】

令和3年 予算特別委員会 (2月26日～3月17日)

私は、決算特別委員会の第3分科会において、「こども家庭局」「経済観光局」に対し質疑を行いました。質疑の様子は、記載のQRコードからご覧いただけます。

こども家庭局への質疑 (3月2日)

1. 保育士の負担軽減について

質問 保育士の負担を軽減するために、ICT（情報通信技術）導入を3か年計画で進めているが、その進捗について伺いたい。

答弁 現在146施設に導入済。令和3年度中に、希望する全ての民間施設に導入できるように制度の周知を徹底していきたい。

要望 潜在保育士が多い原因の1つに、午睡チェックなどによる心身の負担が大きいことがある。ICT（登降園管理、保育の計画・記録など）を活用し、**保育士が働きやすい**取り組みをお願いしたい。

2. 学童保育における昼食サービスの充実について

質問 利便性向上の取り組みとして、現在市内5施設で実施されている夏休み中の昼食提供を広げてみてはどうか。

答弁 保護者の負担軽減に繋がることは認識している。令和2年度に一部の児童館で、冬休み等にも実証実験を行った。今回の実証実験の結果を踏まえ、課題を整理し検討を進めていきたい。

要望 朝の時間帯は本当に忙しく、長期休業中の学校給食がない時に、**昼食サービスの提供**があることは、保護者にとって**非常にメリット**があると思うので、昼食のサービスの検討も進めていただきたい。

3. 妊産婦の移動支援について



質問 妊産婦のタクシー助成に予算が計上されたことは、大いに評価している。今年度は新型コロナウイルスの緊急対策であったため、利用できるタクシー会社が限られていた。新年度からの実施にあたっては、**幅広いタクシー会社が利用できる**ようにできないか。

答弁 令和3年度の事業では、そのような課題をなくすように、新たな助成方法を現在検討している。

要望 妊産婦の方から、「タクシークーポンが届き本当にありがたい」という声を聞いた一方で、「このクーポンが使えなかった」という声も聞いている。

使えると思ったものが使えなかったことで、残念に思う経験が、みなさんにもおありだと思う。**利用しやすいクーポン**に、是非ともしていただきたい。

※今回の質問で、**今年の1月4日から本事業開始までの間に、妊娠の届出を提出された方にも「1人5千円」の助成の対象とする**回答を得ました。

4. 児童虐待にかかる体制強化について

質問 増加する児童虐待の相談対応の本市における体制強化にあわせて、この春にオレンジリボンの市民への啓発キャンペーンを行ってはどうか。

答弁 11月に**オレンジリボンキャンペーン**を毎年実施しているが、1年通じて啓発をしていくことは大事なことである。昨年に作った児童虐待とDV防止の啓発動画を、年度明けにまた映画館で上映するなど、効果的な方法について検討していきたい。



質疑の様子



要望 動画の方がより伝える力があるので、デジタルサイネージや大型ビジョンを通して、市内外の方々への**オレンジリボン**の啓発をお願いしたい。

涙を流す心に気づいてください



児童相談所虐待対応ダイヤル

☎189

神戸市配偶者暴力相談支援センター

☎078-382-0037



児童虐待・DV防止の啓発動画

KOBE 神戸市こども家庭局 児童虐待とDVの相談窓口につながります。

5. ひとり親家庭に対する食事支援について

質問 実証実験として北区のみで民間団体による「神戸こども宅食プロジェクト※」が実施されているが、この民間の取り組みを市内全域に拡大し、神戸市として何らかの支援ができないか。

答弁 食品を届ける経済的な支援と、お困りのことを聞いて行政や地域の方につないでいく支援の効果について、この実証実験の結果を待って検討をしていきたい。

要望 こども食堂に足を運ばない、家計が苦しい状況を他人に知られたくないことから、支援が届かない親子がいるのではないかと。こども家庭局がコーディネート的な立場で、**民間企業等を活用**しながら宅食を進めていただきたい。

※「神戸こども宅食プロジェクト（実証実験）」：様々な事情で「生活が大変」と感じる子育て中のご家庭へ定期的に食品を届ける取り組み。



6. こども食堂における食材の確保について

質問 こども食堂を全市的に展開するうえで、食材の確保は非常に重要な課題である。食材を集積して各食堂に配送する仕組みや、協力企業を募って食材の有効利用ができるような仕組みを検討すべきではないか。

答弁 現在、行っている民間事業者とNPOとの連携の実証実験を通じて、食品の配送、マッチング、保管場所について検討をしていきたい。また環境局ともしっかりと連携をして、民間企業のノウハウも活用していきたい。

要望 こども食堂を拡充すること、そしてこども食堂に行きにくいご家庭には宅食をという二本柱で、神戸の**非常に生活の厳しい方**へのお支えを期待したい。

※こども食堂：地域の子どもたちや保護者などを対象に、食事を提供する場（コミュニティ）のこと。

経済観光局への質疑（3月8日）



質疑の様子

1. 神戸夜市の推進について

質問 令和2年度より大きく動き出した神戸のまち並みと一体となった夜の賑わいづくりについて、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 今年の秋頃には、新港第一突堤基部に複合文化施設「神戸ポートミュージアム※」が開業し、その1階にはフードホールが整備される予定となっている。このフードホールは、ナイトタイムエコノミー※に資する次世代フードマーケットとして整備されるもので、**ウォーターフロントエリアにおける神戸らしい常設型の夜市**として期待している。多様な夜型コンテンツを造成する取り組みを進め、神戸のまち全体として夜のにぎわい作りを創出できるよう努めてまいりたい。

要望 さんきたアモーレ広場やJR三宮駅の南側は、非常に駅の利用客からも目が届く所である。そこで**華やかな夜の賑わい**があれば、**神戸のナイトタイムエコノミー**にも繋がっていく。コロナ禍で元気を落としているので、神戸経済を盛り上げていく観点からも頑張っていたいただきたい。

※神戸ポートミュージアム：アクアリウム、フードホール、クラシックカーミュージアムで構成された複合文化施設。



※ナイトタイムエコノミー（夜間経済）：主に18時から翌朝6時までの間に行われる、観光や娯楽などの経済活動のこと。

2. キッチンカー事業の推進について

質問 新型コロナウイルス感染症により屋外での飲食が注目を浴びる中、キッチンカーの出店場所の開拓を、どのような視点で進めていくのか。

答弁 民有地をさらに活用し、複数台の移動販売車が日常的に出店している場所を増やすことを念頭に進め、**認知度の向上や空間のにぎわいづくり**につなげていきたい。

要望 キッチンカーを活用した「**神戸夜市**」の今後の取り組みを通して、「台湾夜市」のように、もっともって**神戸の魅力**を高めてもらいたい。



※キッチンカー：ケータリングトラックやフードトラック等と呼ばれ、特に食品の調理を目的とした設備を備える車両の一般名称。

3. 教育旅行の誘致について

質問 教育旅行の誘致を旅行会社のみ任せではなく、これまで培ってきたノウハウを生かし、神戸市と旅行会社とが手を取り合って積極的に誘致を進めていくべきと考えるが。

答弁 近畿圏内の教育旅行を取り扱う大手旅行会社に対して、神戸でしか体験できないツアーやモデルコースなどのプログラム集やパンフレットなどを送付し、**神戸への誘客広告の強化**を図っている。

要望 神戸空港からの就航都市や名古屋圏など、**学校の多いところ**を中心に、できるところから進めていただきたい。

4. 神戸公式観光ガイドのリニューアルについて

質問 修学旅行の行き先を、事前に生徒たちがネットで調べて計画をしている中、例えばエリアガイドの地図をタッチしたら、その場所の詳細につながるような、おもてなしの取り組みができないか。

答弁 新たに作成した神戸で体験できるSDGsに即したプログラムや、感染予防対策の取り組みなどを掲載し、旅行会社や学校関係者が検索しやすい工夫を施し、**利用者目線に立ったホームページの改修**に努めたい。

要望 教育旅行中や旅行が終わってから、「神戸のここが良かった」を、SNSで投稿していただき、抽選で例えば神戸への往復空港券や宿泊券などがもらえることで、**また神戸に来てもらえる**取り組みもお願いしたい。

5. 里山・農村の活性化について

質問 地域の飲食店の方から「形の整っていないものでもいいので、**市の美味しい農産物を活用**できないか」という声を聞いている。流通に適していない野菜等が、なんとか使えないか。

答弁 食材フェアやファーマーズマーケットの拡大実施など、市内産の農産物の生産状況を情報発信していき、**生産者と飲食店とのマッチング**ができる機会を増やして、地産地消の拡大に繋げていきたい。

要望 生産者が手塩にかけて育てた農産物を**決して無駄にしない**、そして多くの方に食べてもらって**喜んでいただける**取り組みをお願いしたい。



MICEの開催を通じた将来の神戸空港の国際化実現に向けても要望

要望 今コロナで本当にピンチだが、「**ピンチはチャンス**」ということで、コロナが収束した後は海外から神戸に来ていただき、そして**神戸のまち・人・味覚**を通して、また神戸に来てもらうためには、**神戸空港を国際化**することが一番理想である。空港から医療産業都市にも近いので、しっかりと盛り上げていただきたい。



神戸空港のロビー

MICE（マイス）：企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

実現(予定)に結び付いた主な20の案件

令和2年度(任期2年目)に当局とかかわり、実現(予定)に結び付いた主な20の取り組みについて、ご報告をさせていただきます。令和3年度も引き続き、**神戸市民のみなさまの小さな声も大切に**しながら、誠実に努めてまいります。

- ① 阪神電車の東灘区内3駅(魚崎、青木、深江駅)における、始発から終電までのエスカレーター終日運転化の実現【令和2年10月1日の始発から】
- ② 神戸市営地下鉄(全238両<43編成>)、市バス(全515両)への抗ウイルス・抗菌加工の実現
- ③ ポートライナーの「京コンピュータ前」駅が、「計算科学センター」駅<神戸どうぶつ王国・「富岳」前>に変更【6月からの予定】



② 阪神御影駅停留所にて

- ④ 市立学校園における、国の基準を超えた神戸市独自の積極的なPCR検査の実施や、風評被害を防止する観点からの学校名公表の差し控え。(※神戸市は、濃厚接触者ではない同じクラスの児童生徒等にも、念のためにPCR検査を実施)
- ⑤ 医療従事者等の心のケアにかかる電話相談窓口の開設【令和2年6月26日】をはじめ、新型コロナウイルス感染者への差別や誹謗中傷などの風評被害対策
- ⑥ 「中小企業チャレンジ支援補助金」申請期間の延長、申請状況の見える化と予算額の更なる拡充(51億4,000万円追加)



⑦ 認知症「神戸モデル」診断助成制度利用者アンケートの結果

- ⑦ 認知症「神戸モデル」全体についての検証と、フレイル予防対策の推進
- ⑧ 「化学物質過敏症」のポスター製作と、区役所や学校園などの公共施設への掲示
- ⑨ こべっこあそびひろば・六甲アイランドの絵本コーナーにて、知育や情操教育につながる絵本(80冊程度)の提供【4月13日開園】
- ⑩ 保育所の広域利用につながる「保育送迎ステーション」の開設(御影、三宮、元町の3エリア)
- ⑪ 妊産婦の負担軽減を図るため、外出時のタクシー利用助成の「恒久化」と、協力タクシー会社の拡充(1人5000円)



⑨ こべっこあそびひろば・六甲アイランド

- ⑫ 夏休み中の学校給食実施に伴う職員の熱中症対策、学校施設の異常高温対策
 - ① 小学校体育館への部分空調新設(市内40校に)
 - ② 小学校給食室への空調新設(市内34校に)
- ⑬ 市内小中学校で教員等の事務負担軽減のために業務補助を行う「スクールサポートスタッフ」の配置拡充(令和2年度当初90校⇒160校に)
- ⑭ 市内小中学校の図書館の利活用を進める「学校司書」の配置拡充(令和2年度当初156校⇒170校に)
- ⑮ 中学校給食の全員喫食制に向けた調査検討開始、保温食缶を活用した温かい給食の提供



⑮ 保温食缶を活用した温かい給食の提供

- ⑯ 歩道に張り出した桜の枝の剪定(東灘区役所南側)、天神川の雑草の剪定(御影小前)
- ⑰ 御影市場「旨水館」西側店舗への大雨による雨水侵入被害を受けての緊急対応と改善
- ⑱ 中御影1丁目のゴミステーション(2か所)の利便性の向上【令和2年12月から】
- ⑲ 魚崎北町7丁目交差点内への車両防止柵設置、魚崎小学校南側の通学路の緊急補修対応
- ⑳ 六甲アイランドの活性化の予算措置【1億6250万円】(AOIA跡地の活用に向けた基盤整備、リバーモール空間を活用した足湯施設の設置、サン広場の憩い・集う空間化、神戸ファッションマートエントランスの活性化)



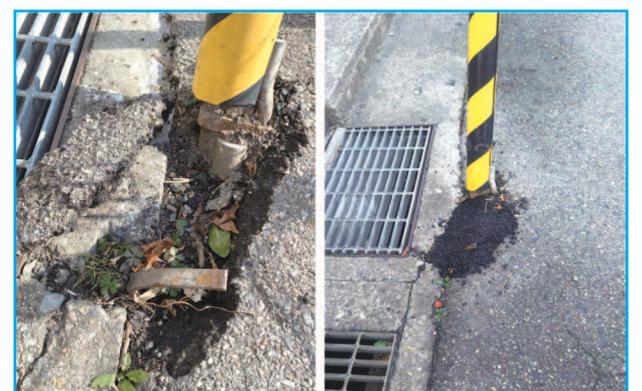
⑱ 御影中町1丁目のゴミステーション



⑯ 天神川の雑草(草刈り前) → (草刈り後)



⑲ 車両防止柵(設置前) → (設置後)



⑲ 魚崎小学校南側の通学路(補修前) → (補修後)



令和3年第1回定例市会(2月議会)

第1回定例市会(2月議会)は、2月18日から3月末までの間、予算市会として、令和3年度の神戸市の施策について、市当局の原案をもとに本会議や予算特別委員会において審査しています。

かじ幸夫が所属する立憲民主党市会議員団では、**新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止や医療提供体制の安定的確保**など強く要望し、また教育・福祉関連については、以前から要望していた35人学級の実現やこども・若者ケアラーへの支援、ひとり親家庭への支援などが予算案に反映されました。これらを含むすべての予算案に対して、提案・要望を重ねたうえで、承認される予定です。

令和3年度 神戸市当初予算規模

一般会計	8,704億円
特別会計	6,535億円
企業会計	3,292億円

令和3年度神戸市予算 主な新規事業・拡充事業 ～ 予算要望から新規・拡充の予算(案)へ ～

●健康・福祉・安全

- ・こども医療費助成制度の拡充について … 6,109万円
- ・こども・若者ケアラーへの支援 … 1,500万円
- ・がん患者のアピアランスケア支援事業 … 1,296万円

●子育て・教育

- ・ひとり親家庭への支援 … 3億4,445万円
- ・温かい中学校給食に推進 … 3,300万円
- ・学童保育利用者を対象とした学習支援 … 6,184万円

●西区関連予算

- ・(仮称)西神南消防出張所の新設 … 4億2,416万円



(仮称)西神南消防出張所 完成予定図

この予算市会において、かじ幸夫は、**コロナ禍対策を最重要課題**と捉え、**医療従事者の人材確保や処遇改善**、そのうえで安全・安心で豊かな市民生活に繋がる施策を求めてきました。特に、本会議では会派を代表して代表質疑に臨み「Withコロナを見据えたこれからの神戸市のあり方」について質し、また各局審査については「健康局」、「福祉局」、「環境局」に対して質疑を行いました。

新年度にはいよいよ**コロナワクチン接種**が始まります。すべての市民が混乱なく冷静にワクチン接種に向き合うことができるよう、神戸市に対して適宜、正確な情報提供を行うよう求めています。



神戸市予算関連記事は抜粋したものです。
詳しくは神戸市のホームページをご覧ください!



1. Withコロナを見据えた医療人材の確保について

Q 新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、現場の第一線で対応いただく医療人材の確保、特に看護師の確保について急務です。即戦力として対応頂ける「潜在看護師」に対する人材確保策を強化してはいかがでしょうか。

A 県の看護協会と連携して、看護師の人材確保、離職防止、再就職支援のための総合的な施策を展開しております。市としても施策の充実を県に要望するとともに、市立看護大学において看護人材の育成を推進してきています。引き続き、優秀な看護人材の供給・促進、市内定着に力を入れていきたい。

要望 看護師をはじめ医療現場は「人」が直接関わらなければならない大切な職域です。医療人材を育てていくため市としての支援を要望しておきます。

2. Withコロナを見据えた公教育におけるICT教育のあり方について

Q 新年度当初には小・中学校全ての児童生徒にタブレット端末が貸与されることになりました。この端末の活用について、授業モデル等の目指すべき方向性はどのようなものか伺います。

A 動画や写真画像などのコンテンツを使って、視覚的な理解を促すことができ、そしてグループ学習においてより効果が発揮できると考えています。授業の形態が大きく変わること、児童・生徒の興味や関心、また意欲の向上を図り、課題への深い理解につながっていくものと考えています。

要望 端末への慣れの問題もあり、それぞれの理解度・習熟度に応じて、丁寧に進めていただきたい。教員と子どもたちが一緒に考えながら学びを深めていくことが大切であり、教育委員会として各校に対して的確な支援・助言に努めていただきたい。

3. Withコロナを見据えた神戸のまちづくりのあり方について

Q 地域コミュニティ交通の運行支援策として、市内4地域で本格運行支援、8地域で需要調査や試験運行による検証が行われます。まちづくりにおける都市交通の位置づけや地域公共交通のあり方について伺います。

A 基本は、鉄道網を基幹交通網とし、鉄道の駅と地域を結ぶバス路線をフィーダー網とする。そしてバス路線で採算が取れないところは地域コミュニティ交通で補完する。これが基本的な考え方です。

要望 公共交通事業はライフラインと同等に重要な施策です。特に地域コミュニティ交通の本格運行の可否を判断する際は、利用人数や収支といった経済原理だけではなく、まちづくりに必要な都市の装置だといった観点で判断していただきたい。



質疑の内容は抜粋です。神戸市会のホームページで録画中継や議事録を見ることができます。



予算特別委員会 各局審査 [2021年3月1日～10日]

1. コロナ禍における市民への食の対策について

[健康局] 3月3日

Q コロナ禍において食生活にどのような影響があるのかについて、アンケート調査が1月に実施されました。その結果を受けて、ひとり親世帯に対しどのような施策を考えているのか伺います。

A アンケート結果では、ひとり親家庭での食生活の悪化が顕著に見られました。支援団体とも連携し、簡単で時短のレシピや安くて栄養バランスが良いものなどのレシピ動画を作成して発信するとともに、さらなる改善の方策について検討していきたい。

要望 子どもたちにとって「食育」を通じて知育・徳育・体育という健康の基礎作りに繋げていくことが重要です。子どもたちや若い世代が家庭環境に関わらず「食」を中心とする健全な生活を送れるようしっかり対応していただきたい。

2. 保健師の負担軽減について

[健康局] 3月3日

Q 保健師として、コロナ対策以外にも近年増加しているひきこもりや児童虐待、高齢者への虐待など対応が困難な事例が増え、業務が増大・多様化しています。新年度、保健師を増員し体制強化する一方で、個々の保健師の負担軽減を図ることは喫緊の課題と考えています。業務のICT化など、専門性が

発揮しやすい環境づくりを進めていくべきと考えますが見解を伺います。

A ICTの活用等進めており、今般の新型コロナウイルス対策について、スマートフォンで健康状態を確認するシステムを導入して対応しています。今後はタブレット端末を保健師全員に持たせるなどさらに効率よく仕事ができるように進めていきたい。

要望 新年度当初に採用される保健師には新卒者の方も多く含まれると伺っています。現場はギリギリの人員体制ですが、社会経験が少ない若い保健師のためにOJTを含む育成や研修に十分な時間・期間をかけていただきたい。

1. 障害者の就労支援について

[福祉局] 3月4日

Q 市内で5か所の「しごとサポート」を設置し、就労相談や職場開拓、定着支援に取り組んでいただいています。制度を利用して就労につながった事例やどのような職種へ就労しているのか伺います。

A 昨年度の相談延べ件数は1万6210件、支援実績は就職者数が271人。事務職、清掃軽作業店舗業務、厨房倉庫内作業などに就労されています。今後も働く意欲のある障害者がその希望や特性に応じて働き続けることができるよう支援体制を強化していきたい。

要望 いかに具体的に就職につながったか、いかに長く勤めることができているかが大切です。障害者の生活が安定し、豊かな生活を送ることができるよう市として積極的に支援していただきたい。

2. ICTを活用した生活困窮世帯へのリモート学習支援について

[福祉局] 3月4日

Q 経済的な事情による学力格差が懸念される中学生への支援として、リモート学習支援「リモスタ」事業を拡充して実施していただく予定です。学校とも連携しアウトリーチ的に情報発信していただきたい。加えて従前から実施している対面式の学習支援

にも参加を促して支援の充実を図ってほしいと考えますがいかがでしょうか。

A 「リモスタ」事業については丁寧な周知をさせて頂き、参加者は200名を超え、出席率も96%となっています。対面式の学習支援事業も市内12か所で実施しており、リモート学習とともに支援を拡充していきたい。

要望 コロナ禍の影響を受けてその学力格差が広がっていていることが懸念されています。子どもたちには家庭環境に関わりなく学習機会の平等がしっかりと担保されることが大切です。関係部局としっかり連携して取り組んでいただきたい。

かじ 視点

ICT教育が拡充されます

令和3年度より市内の公立小・中学校で全ての児童生徒に対して1人1台タブレット端末が貸与され、ICTを活用した授業が始まります。学習環境が変わり、より充実した学びとなることを期待しています。一方で慣れない端末操作に、先生も子どもたちも戸惑う場面も多いのではと察します。試行錯誤、トライアル&エラーを繰り返しながらも有効に機器を活用頂きたいと思います。

一方で、ICTがどのように発展しても、**人と人の触れ合いから学ぶことが大切**だと信じています。**神戸の教育理念は「人は人によって人になる」**この精神を忘れずにいてもらいたいものです。

医療に携わる方々への負担軽減について

コロナ禍に見舞われ1年が経過しました。未知なウイルスに立ち向かい、市民の安全安心な暮らしを守っていただいている医療従事者の皆さまには心から感謝申し上げたいと思います。

予算特別委員会においては、**看護師の人材確保**や**保健師の負担軽減**など、**医療に携わる方々への負担軽減**を訴えてきました。神戸市の令和3年度予算では、医療機関や医療従事者への支援が多く盛り込まれましたが、いま求められている負担軽減策は、**市民一人ひとりが感染予防策を徹底して行い、感染者を減らしていくこと**ではないでしょうか。また、医療に携わる方々に対する風評被害や心ない言葉が発せられることも少なくないようです。「**お互いさまとおかげさま**」そんな気持ちを大切にコロナ禍に向き合っていきたいものです。



令和3年度 新型コロナウイルス感染症へ対応した予算〔抜粋〕

1. 感染拡大防止 112億4,000万円
新型コロナウイルスワクチン接種 92億円
検査体制の強化 10億5,100万円
2. 医療提供体制の安定的確保 48億1,600万円
市民病院での重症・中等症コロナ患者受入れに関する支援



神戸市立医療センター中央市民病院提供



新型コロナウイルス ワクチン接種 について

神戸市新型コロナ
ワクチン接種コールセンター



078-277-3320

受付時間：平日8:30~20:00 土日祝8:30~17:30 受付内容：接種可能な市内医療機関の紹介
電話での問合せが困難な人は 集団接種の会場・予約方法の案内
メール：pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp 接種券が届かない・再発行などの問い合わせ

新型コロナウイルス感染症の収束まで、引き続き要望・提言を行いながら取り組みます！
かじ 幸夫